

3月の園便り

2021年 新潟青陵幼稚園 園長 加藤 由美子

次郎君が遊んでいたものが使いたくて、太郎君は「おれが遊んでた」と言い出しました。周りで遊んでいたこどもたちは優しく「次郎君がやってたんだよ」と言いました。それでも「おれが遊んでた!」というので、周りの子どもたちは、もう一度「次郎君がやってたんだよ」と言いました。すると太郎君は怒りだしました。担任は別の遊びをしようよといって、太郎君を慰めました。けなげに、机の下に入って気持ちを収めようとしていた太郎君!! 少し気持ちも納まって、遊ぼうと思って机の下から出て見たら、みんなは、すでに別の遊びをしていました・・・すると太郎君はまたもや気持ちが崩れて、積み木を倒し始めました。担任は太郎君を抱っこして職員室に連れてきました。

太郎君は折り紙が大好きなのです。ですから、「折り紙する? ...何折る? ...飛行機がいいかな? ...」と言いながら折り紙を出し、折り紙の本をそろえました。でも太郎君はうつぶせになったままで、私の問いかけに、すべて首を横に振っています。「それじゃあ、磁石で遊ぼうか?」と太郎君の近くで磁石のおもちゃで遊び始めてみました、遊び始めたら、入ってくるかもしれないとちょっと期待しながら・・・でも、太郎君ではなく、他の子どもたちがすぐに寄ってきて「やりた〜い」と磁石のおもちゃで遊び始めました(職員室はいろんな子どもたちが遊びに来ていますので...)太郎君は、子どもたちが磁石のおもちゃで遊んでいるのを横目で見て、ずっと立ちあがり畳のコーナーに行き 寝転びました。

そして、少しごろごろしていましたが、やがて職員室からでていき、保育室へ戻りました。私の提案をすべて拒否することで心の中の怒りを静めていく...反発するエネルギーを、ポジティブなエネルギーに変え、自分を立て直したようでした、自分で自分の気持ちを収めた太郎君の姿に感慨もひとしおでした。

入園してから、いいことも悪いことも含め、たくさんの体験をして、自分で感じ、考え、自分の心の糧としてきた子どもたちです。感情をコントロールすることができるようになるまでには、泣いたりわめいたり手が出たりしますが、子どもの“気持ち”を“言葉”にかえる...「こうしたかったね」「これがいやだったね」と保育者が子どもの気持ちを言葉にすることで、子どもが自分気持ちに気づき、自分の行動を考えることができます、そして、自分の感情をコントロールしようとしていきます。保育者が「我慢しなさい」と強いたり「そんなことしたらダメでしょ」と怒ったりして、子どもの感情を押さえるのではなく、気持ちを受けとめ理解することが必要です。時間をかけて・・・体験が人格の基礎を作っていくのですから。



3月の予定

日	曜	給食	降園時間	行 事
1	月	○	2:30	
2	火	○	2:30	
3	水	○	2:30	令和2年度の新入園児さんのお楽しみ会を行います。
4	木	○	2:30	
5	金	○	2:30	
6	土			
7	日			
8	月	○	2:30	
9	火	○	2:30	
10	水	×	11:30	誕生会です、3月生まれさんの保護者の方、ご一緒にお祝いしましょう
11	木	○	2:30	
12	金	○	2:00	異年齢のグループで会食を行います。
13	土			青ばら保護者の皆様主催、卒園を祝う会を行います。
14	日	/	/	
15	月	○	2:30	
16	火	○	2:30	
17	水	○	2:30	
18	木	○	2:30	もも組、赤ばら、白ばらさんが一緒に[青ばらさんおめでとうの会]を行います。
19	金	×	11:30	第3学期、終業式を行います
20	土			第53回修了式を行います。もも組、赤ばら、白ばらさんはお休みです。
21	日	/	/	
22	月	/	/	春分の日振替休日 2号さんは通常通りです。
23	火	/	/	星の子さんは行います、ご利用ください。2号さんは通常通りです。
24	水	/	/	〃
25	木	/	/	〃
26	金	/	/	〃
27	土	/	/	〃
28	日	/	/	
29	月	/	/	〃
30	火	/	/	〃
31	水	/	/	〃